

## 厚木中央自動車学校『ふれあい祭り』～地域とふれあう広報活動



初展示の施設工作車

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 明神忠雄3海佐)は、10月5日(日)、厚木市の厚木中央自動車学校で開催された『ふれあい祭り』において募集広報活動を行った。

当日は10月とは思えない暑さの中、教習車体験やステーション、フリーマーケットやフードコーナーなど、多彩な催しに多くの来場者が訪れ、会場は大いににぎわった。厚木募集案内所は「はたらく車コーナー」において、陸上自衛隊東部方面後方支援隊第102施設直支援大隊の支援を得て、募集広報活動では初めてとなる施設工作車を展示したほか、迷彩服試着体験や自衛隊の活動を紹介する写真パネル展示などを実施した。

普段目にする機会が少ない施設工作車の展示は、子どもから大人まで多くの注目を集め、「どのような場所で活動するのか」「どのような作業をする車両か」といった熱心な質問が寄せられるなど、広報効果は大きなものとなった。また「ちびっ子迷彩服体験」も変わらぬ人気で、「どの色が似合うかな?」「ここのほうがいいよ!」「どこの色が似合うかな?」と、来場者同士の交流も生まれていた。募集相談コーナーには入隊に関心を持つ方々も多数訪れ、疑問や不安を解消する場ともなった。厚木募集案内所は「今後も地域のイベントへ積極的に参加し、地域の方々と触れ合いを大切にしなが、自衛隊・自衛官への理解促進に努めていく」としている。



興味津々の来場者



人気の迷彩服試着コーナー



募集相談

## 「災害に備える力を身近に」 —イオン金沢八景店で自衛隊車両展示イベント—



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所(所長 荒木功順3陸佐)は、10月11日(土)と12日(日)の2日間、イオン金沢八景店で「災害時に活動するクルマ」をテーマとした広報イベントを行った。

当日は野外広場に、災害時に被災者へ温かい食事を提供する野外炊具1号のほか、31/2トラックや1/2トラックを展示。広報ブースでは、災害派遣時の活動の写真や戦闘用・非常用糧食の展示を行い、来場者に自衛隊の活動を紹介した。また、隊員が災害時に携行する装備を展示し、約18kgの背囊(はいのう)を背負う体験コーナーも設置された。

三連休の開催とあって親子連れの来場が多く、小学生の女の子たちが装備を身に付けて記念写真を撮ったり、幼い子供たちが野外炊具の周りで元気に遊んだりする姿が見られた。中でも人気を集めたのは背囊体験で、挑戦した人からは「思ったより重い」「これを背負って歩くのは大変ですね!」「これ声が聞かれた。さらに、南極観測船「しらせ」が持ち帰った南極の氷や砂・石に触れられる特設コーナーも設けられ、多くの来場者が興味深そうに体験していた。

訪れた人の中には「頑張ってください」「応援しています」と声をかけてくれる人も多く、自衛隊活動への理解と関心を深める良い機会となった。

上大岡募集案内所は、「今後も地域と連携しながら、多くの市民に自衛隊を知ってもらえるよう積極的にイベントを実施し、防衛基盤の拡充を図っていきたい」としている。

